

# NEWS LETTER



△「ユースボランティア茅ヶ崎2023」オリエンテーション風景△

## CONTENTS

- ・【特集】市民活動アンケート
- ・ユースボランティア茅ヶ崎2023オリエンテーション報告他
- ・「さぼちゃんが行く！」  
特定非営利活動法人湘南ふくしネットワークオンブズマン
- ・お知らせ/カレンダー

#サポセンはみんなの想いでできている



「左利き用のはさみがなかったの」と、自分が使っていたはさみをさりげなく寄付してくれたのは、5年ほど前に「ユースボランティア」でサポセンスタッフのお手伝い体験をしていた、当時中学生のIさん（P6でも紹介）。日本では左利きさんの割合が約11%とか。若い子たちの視点には、いつもはっとさせられます。

ひと目で分かる

今後の予定  8月～10月 

◎詳細が決まり次第 HP更新します▷



AUG  
08


8/22(火) 14:00～16:00  
シェア de ボランティア

8/29(火) 13:30～17:00  
IT スキルアップミニ講座「Word でチラシづくり」

SEP  
09

9/16(土) 13:00～15:00  
SDGs ネットワーク事業  
「演劇を通じた人づくり地域づくり」

9/30(土) 14:00～16:00  
ボランティア塾 in サポセン  
「救いたい思いが社会を変える」

「こどたん+プラス2024」  
お楽しみに♪ 

OCT  
10

10/21(土) 14:00～16:00  
NPO 講座  
「地域メディア活用法」

## 『こどたん+プラス2024』

10/28(土) 13:30～15:00 キックオフ交流会  
募集要項配付予定日：10/15(土)～、企画募集締切日：12/15(金)

開催日：2024年3月9日(土)・10日(日)予定 @サポセン  
～詳細は、分かり次第ニュースレター、チラシ、HPで告知します～

NOV  
11

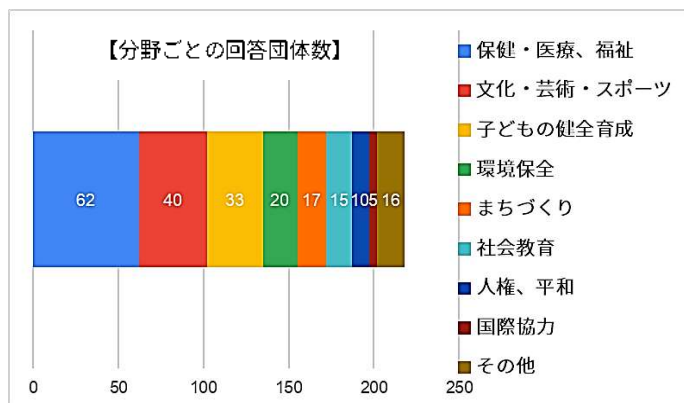
11/26(日) 14:00～16:00  
SDGs カフェ  
「多文化共生の地域社会づくり」

# 【特集】「2023年度 市民活動団体に関する状況調査アンケート」 集計結果

データベース登録団体を対象に、現在の活動状況や必要とする支援についてアンケート調査を行いました。今後の施設運営や市民活動の支援・推進事業に役立ててまいります。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。  
 調査期間：5/29～7/21 対象：325団体、回答数：218団体（法人52、任意団体166） 回答率：67%

## Q1 団体について

記入団体名をもとに分野ごとに集計しました。



## Q2 回答者について

内訳は、代表・副代表・理事など71%、事務局・広報・連絡担当など26%、その他(会員、メンバー全員などで)3%でした。

## Q3 活動の頻度

コロナの影響も緩和され、ペースもタイミングも様々ですが、ほとんどの団体が活動を再開しています。

月1回/週1回など定期的に活動48.2%、必要に応じて不定期26.1%、週5日以上17.4%、その他6.4%、活動休止中1.4%でした。

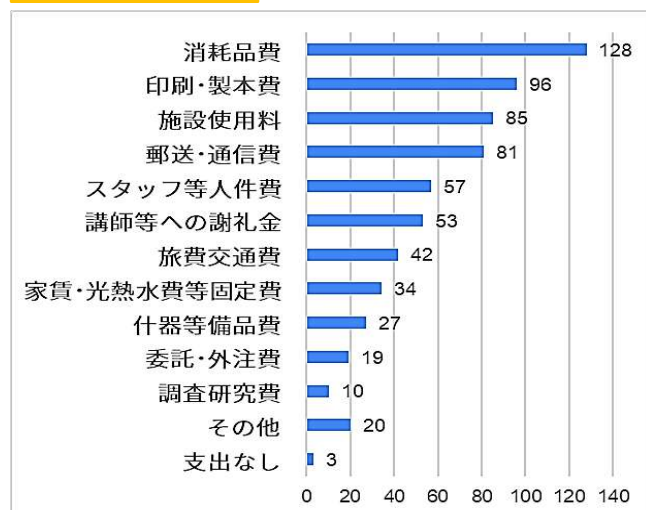
【その他】365日毎日、会議やイベントなど内容に応じて集まったり休んだりする、季節ごとに異なる

## Q4 主な収入源 (複数選択)



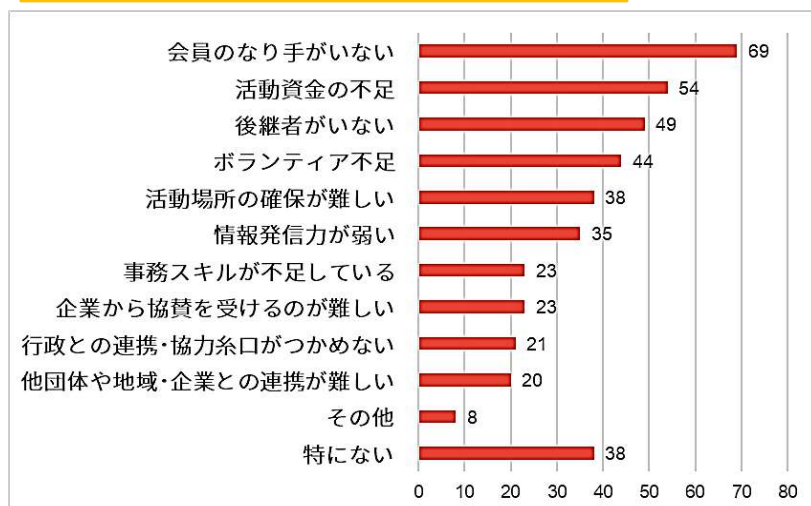
【その他】学校等から交通費・謝金、自治会から、行政からの補助金、私費を投じて、メンバーの自己負担・持ち出し、イベントごとに実費を徴収

## Q5 主な支出費目 (複数選択)



【その他】映像等レンタル料、ボランティア謝金、燃料費、保険料、寄付金、医療費、広告費、インストラクター取得費用

## Q6 現時点で団体が抱える運営上の困りごと (複数選択)

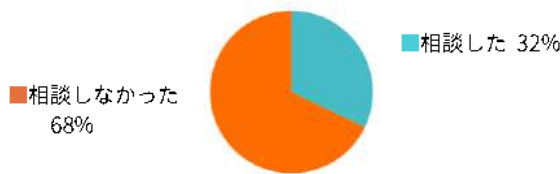


活動歴の長さやメンバー数に関係なく、全体の61.5%にあたる134団体が活動の担い手についての悩みがあると回答。

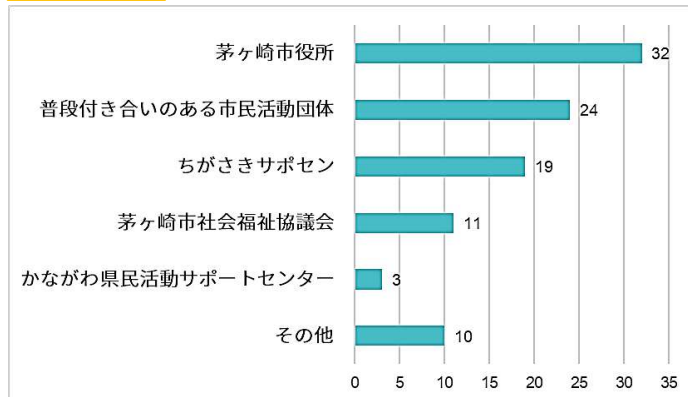
【担い手に関するコメント】会員の中で実働人数が少ない、資格のある潜在手話通訳者の復職が難しい、法人職員が不足、前例のないこと&全国展開をしようとしているので実力のある人(デジタルに強い市内在住の人)が必要、会運営のスタッフ不足、仕事との両立が難しく平日に活動できる人が少ない、会員それぞれに本業があり各員の自主的な活動を一事業化にしたい想いとの解離がある、会員を増やしたい、働き手の高齢化、役員の高齢化

【その他コメント】材料費の高騰により経営の難しさがあある、打楽器など大型楽器を保管するスペースを借受けできると助かる、練習場所・公演場所がない、全員高齢化のため活動する場所の選定に少し苦労する、コロナの影響

## Q7 前項の困りごとを外部に相談しましたか？

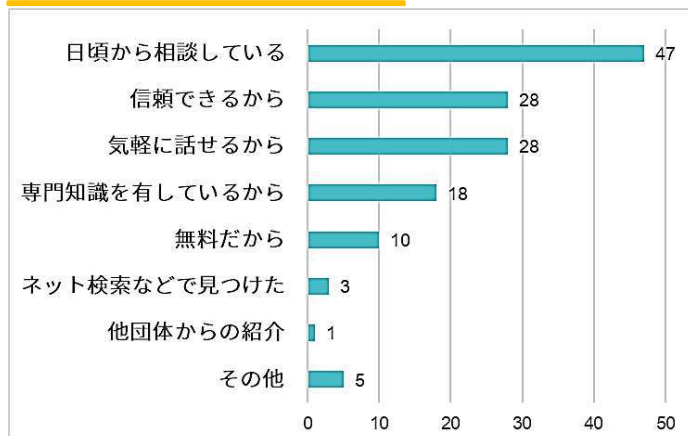


## Q8 相談先 (複数選択)



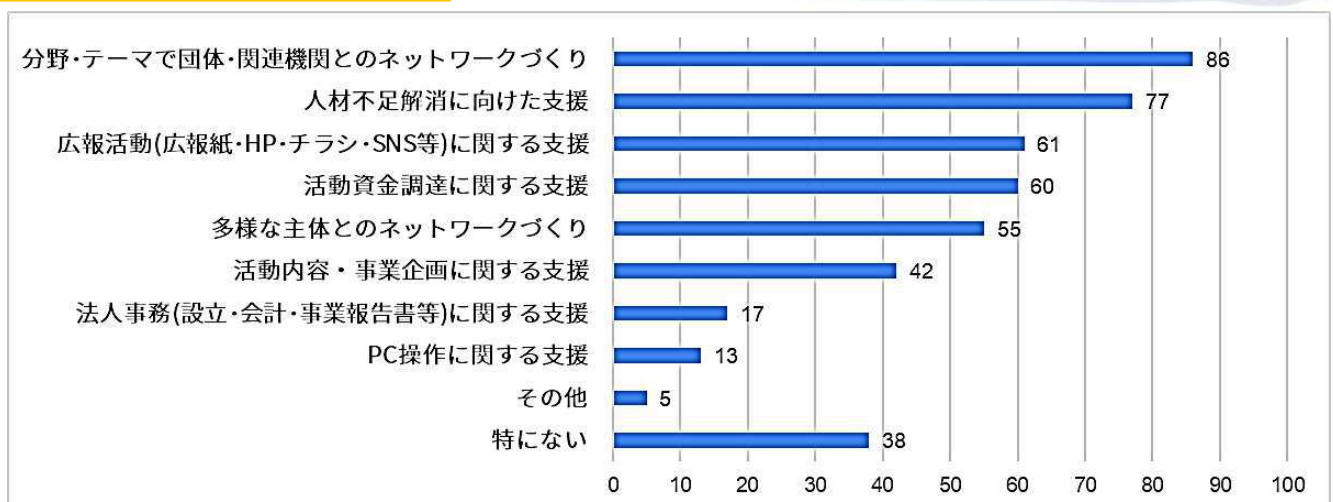
【その他】 上部団体、関係事業所、公庫、藤沢市市民活動推進センター、商工会議所、個人（知り合い）、起業をサポートする方々

## Q9 相談先として選んだ理由 (複数選択)



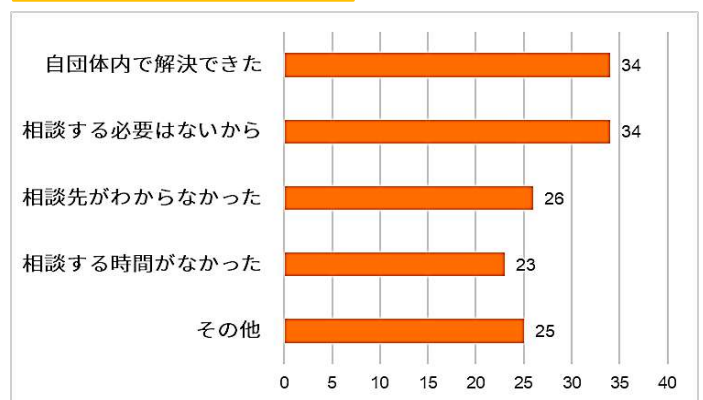
【その他】 理由は特になし、これまでの付き合いで

## Q11 これから必要と思われる支援策 (複数選択)



【その他】 不登校児・生徒の具体的な日中活動や緊急時のセーフティスペースの場の併設を協力してもらえる人・物・費用等の確保、手話通訳者の身分保障のあり方とボランティア活動との関わり方について方向性を決めたい、メンバーが増えたほうが良いと思うが活動の仕方はそれぞれなので何か縁があったら良い、誰が支援するのですか、物価も上がりイベント実費も高額に→機材等購入できる資金があると助かる

## Q10 相談しなかった理由 (複数選択)



【その他】 相談しても解決できそうにない・解決が望めない(9)、自団体内で努力する必要がある・なんとかするしかない(5)、コロナ禍でアクションがおこせなかった(3)、タイミング、有効な答えの返ってくる相談先がない、相談しても反応が良くない、具体的な理解のある相談機関がわからない、専門性が必要、特に理由はない

● サポセン相談もぜひご利用ください  
～どんな小さなことも一緒に考えます●

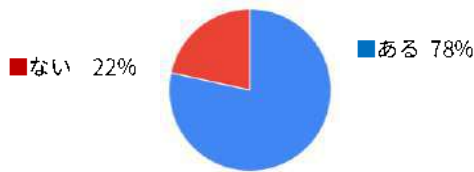
2022年度の相談・問合せは263件(市民活動団体・非営利法人107件[DB登録あり60件]、個人96件、企業15件、その他行政・自治会・福祉機関など45件)。

コロナの感染状況が落ち着き、「ボランティアしたい、何か活動を始めたい」と、特に音楽・スポーツなど趣味や健康づくりの活動、子どもや高齢者への食の支援(食堂)、学習支援、犬猫保護活動等へ関心を寄せる人が多く、仕事の経験やスキルを活かしたい現役世代も増えています。直接誰かの役に立ちたいという動機に加え、人と関わりたい、人とつながりたいという思いも背景にあるようです。

団体からの相談は、新規立ち上げ(NPO法人化や法人格の選択)、資金獲得、げんき基金等補助金・助成金申請、活動場所、備品の貸出、事業の方向性や進め方、広報の協力、NPO法人の事務手続き等。複数のケースで、何度も面談やメール等でやりとりしながら団体の伴走支援を行っています。

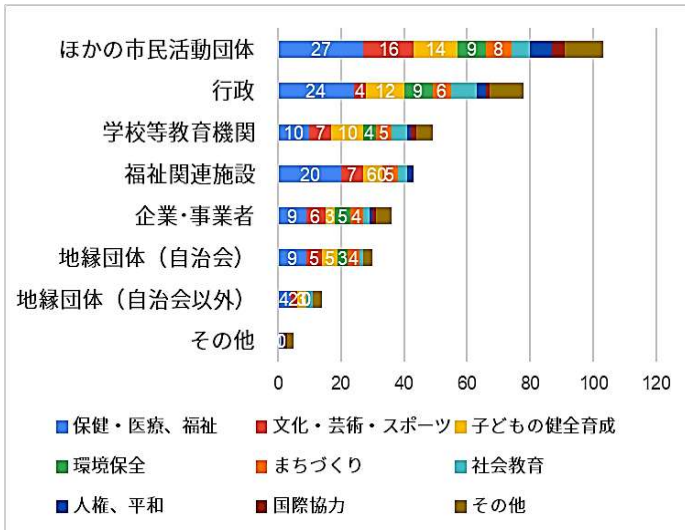
企業からは、物品の寄付など自社資源の活用に関する相談があり、物資の仲介等行いました。

## Q12 他の市民活動団体・行政・学校・企業・地域等との連携・協働の経験



## Q13 つながりのある他の主体とは？ (複数選択)

他団体との連携ありが 103 団体(47.2%)、行政との連携ありは 78 団体(35.8%)。福祉分野はどの主体ともつながりがあることがわかります。



【その他】過去にあった、現在は途絶えている、公益法人、活動で知り合った個人

## Q15 つながりの具体的な内容ときっかけ

たくさんのお話ありがとうございます！  
一部をご紹介します。



### ◆市社会福祉協議会とのつながり

- ・茅ヶ崎ボランティア連絡会に所属(13グループで構成)
- ・市社協を窓口活動しているため、つながりが作りやすい /講師の派遣依頼がある(小中高での福祉出前講座)
- ・イベント共催、協力 /市社協からの補助金

### ◆行政との事業連携・協力、後援、情報共有

- ・行政・公共施設からの委託事業 /イベント協力依頼あり
- ・自然環境調査への人材協力
- ・茅ヶ崎市保健所と連携した相談事業
- ・もともと会の発足は行政の勉強会がきっかけ
- ・支援の場として紹介してもらった /職員が来訪
- ・地元自治体 OB,OG に入会してもらおう働きかけ

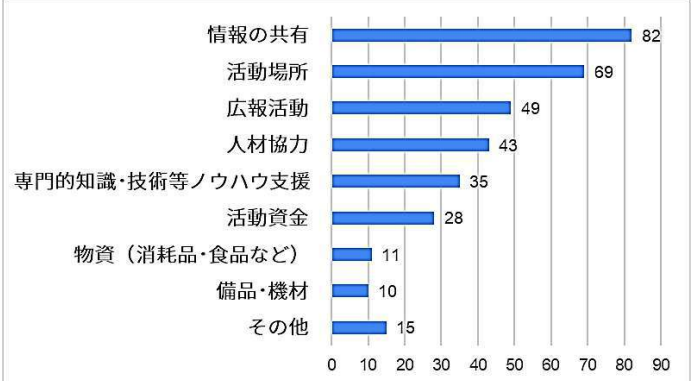
### ◆学校、公民館

- ・小学校、学童、中学校での地域学習や総合学習への協力(昔あそび、自然環境教育、一年間にわたる田んぼ体験、防災教育、平和教育など) /公演 /学習会にボランティア派遣
- ・学校へげんき基金で制作した成果物の提供
- ・公民館事業で講座・講演会開催、まつりの手伝い

### ◆げんき基金、助成金を通して

- ・げんき基金公開プレゼンの場で
- ・げんき基金の活用とその成果物の配布協力
- ・採択事業(実施イベント、WEB制作など)でのつながり
- ・民間助成団体のサロンで、事業報告書を見て連絡あり

## Q14 つながりの内容 (複数選択)



【その他】委託事業(市)、学校との情報交換、小学生の活動受入、学校での公演、地域のネットワークづくり、活動への参加、活動のコラボ、コラボ企画、イベント協力・共催など

### ◆地域、自治会とのつながり

- ・[福祉系 NPO 法人] 地域密着の事業のため自治会役員で参加中、元々地元 /事務所を開設する時に地域の関係団体へ挨拶周りをした
- ・[高齢者の居場所] 民生委員からの情報提供あり
- ・[子どもの居場所、学習支援] 活動を始める時に社協、民生、自治会の方にお会いした /民生委員だった代表が自治会館での会議や活動に参加、自治会館の提供あり /設立時から自治会のバックアップあり(広報活動、物資の支援)
- ・[防災] まちぢから協議会メンバー
- ・[環境] 川掃除などでは地域団体との協力が重要 /自治会が管理している公園の一部を利用
- ・[スポーツ] 活動を体験してもらい自治会員の方々の参加を計った
- ・地域での講演会の開催、講師として協力
- ・地域・商店街のイベント、おまつりに参加
- ・自治会へ情報提供 /自治会から行事連絡をもらっている

### ◆市内、県内など、同様(同じ分野)の活動をしている団体、関係団体とのネットワークがある

- ・情報交換、情報共有、技術・スキルの伝授・習得

### ◆団体の活動や事業、情報共有を通してのつながり

- ・互いの団体情報を共有、活動紹介 /人材の協力
- ・自主製品の販売、イベント(まつり等)参加
- ・ボランティアとして他団体イベント等に参加
- ・こちらから声掛け /出向いて積極的にコンタクト交流
- ・活動(体験受入)に協力いただいている /実習受け入れ
- ・業務委託を受けている /障がいのある方に仕事を発注
- ・イベントや講演会など企画協力、共催

### ◆出会った人とのつながりを大切にしている

- ・昔からのつながり、自分のキャリアの中でのつながり、メンバー・理事の人脈、元メンバー、ボランティアやスタッフのつながり、知人の PTA からの依頼、公共施設(コミセン・公民館)・福祉施設スタッフの知り合い、友だち紹介、所属学会からの紹介、サポセン事業で、ロコミ etc
- ・別の案件で知り合いになった方に自分たちの活動について話したところ、場所(マルシェ)を提供してくれた
- ・話し合っていく中で共催や協働の方向になっていった
- ・企画に参加してくれた人の提案で新たな企画ができた
- ・団体交流会にてお互いの活動内容を知り合う中で、お互い協力出来る事があるとの共通認識が生まれ発展した

### ◆WEBを通して

- ・facebook、Youtube など SNS /団体 HP を通して

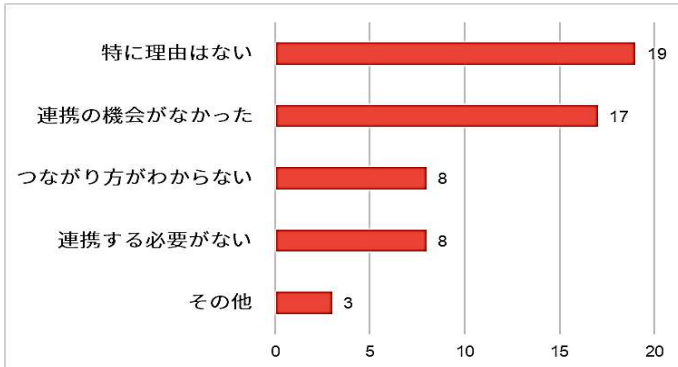
### ◆企業とのつながり

- ・[フードドライブ] 寄付者の知り合い企業から、SNSで活動を知った企業から、物資(食品)や資金の支援あり
- ・資金・物品・ノウハウ提供いただいている
- ・メンバー勤務の企業で自然保護活動への支援があり応募
- ・土木事業者と自然観察&ワークショップ実施
- ・共同研究 /福祉器具の販売機会 /代理店契約 /仕事の受託
- ・企業への協力(外国人への日本語教育)

### ◆その他

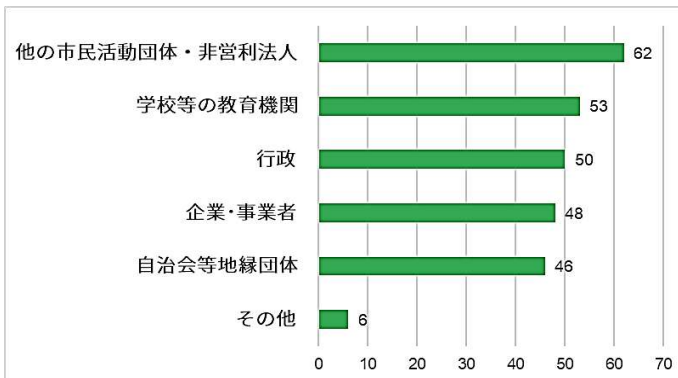
- ・行政(市役所)は人事異動があるため、毎年つながりを維持する必要がある
- ・団体発足当初からの地域活動が高齢化のため終了/従来からあるパイプを引き継いでいるがコロナ禍で中断中
- ・信頼関係がいつもあると何かあったときすぐに相談できてうれしい

### Q16 連携していない理由 (複数選択)



【その他】自治会内の一団体として活動、どこまでが連携か分からない、行政等と話をする機会はあるが事業として連携はこれからだと思う

### Q17 今後、連携・協働したい相手先 (複数選択)



【その他】Q13で回答した相手先とは今後も連携・協働していく予定、無いこともないが自分の会を運営するのに手一杯、学生ボランティアのように元気に活動できる方々に協力をお願いしたい、どこでも、活動内容による、すべてにおいて検討中

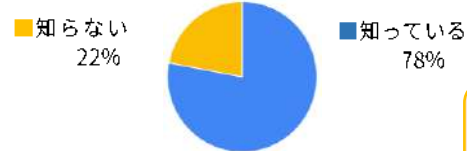
### Q18 サポセン事業に参加できなかった理由 (複数選択)

他の予定・用事と重なった(90件)、参加できる曜日や時間帯ではなかった(58件)、団体の活動に直接関係しない(48件)、特に理由なし(48件)、サポセンのお知らせに気付かず(19件)、団体内の情報共有ができていなかった(16件)、事業内容に関心が持てない(13件)、その他(9件)。

【その他】効果にあまり期待がもてなかった、サポセンの事業に魅力を感じない、市民とのマッチング交流会や活動団体との交流会に力を入れてほしい、現事業で手一杯のため余裕がない、法人に体力がないため人件費の支払いができる営業をしないと廃業してしまう、学習支援以外にも自治会活動等いろいろ活動をしているため、日頃より多忙なため(お知らせに)気づくのが遅い

分野やテーマでの交流機会を期待する声が多く寄せられました。出会いと交流が起こす化学反応から、更なる新しいつながりや思いがけないワクワクする未来が生まれるように、今後も様々な事業を企画していきます。  
団体のみなさんからのご提案もお待ちしています！

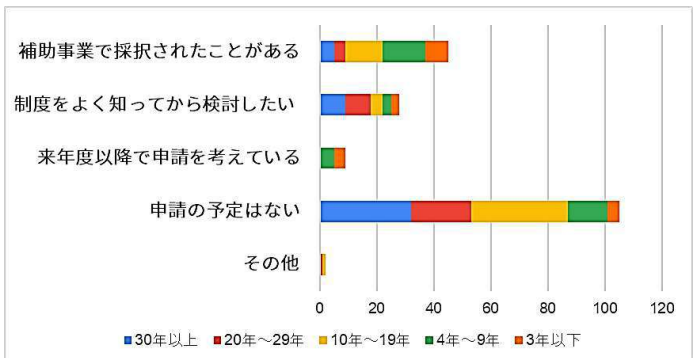
### Q19 市民活動げんき基金について



令和6年(2024年)度事業募集開始は11月頃の予定

### Q20 げんき基金の活用について

これから申請を考えているのは活動歴10年未満の団体。採択経験のある団体からは、「大いに活用させていただいている、感謝している」とコメントいただきました。



【その他】げんき基金で大きく育った、必要になったらまた申請したい、げんき基金が1団体1回限りなので別企画を行う場合申請ができないのは残念、ボランティアを育てる意志を持ち助成してほしい

### Q21 その他ご意見・ご提案など

【サポセンの施設設備】折り機の設置や21:30までの開所など、近隣市町にないサービスがあり大変助かっている。職員の方も親切で利用しやすい施設/夜空いているのが子育て中の私にとってありがたい(PC作業で利用)/PCの使い方、印刷の困りごとなど助けていただき感謝/サポセン自体をもっとコミュニティスペースとして飲食も含めて充実させてほしい。自販機を置いてほしい。

【広報の支援について】HP、市広報紙への掲載を見て団体に問合せがあった/活動の場所や機会の情報を頂いたり、興味のある方に繋げて頂けると助かる/メンバー募集ができる場を増やしてほしい

【サポセン事業に対して】(ユースボランティアでは)学生側のニーズや受入側への要望を活動の参考にさせていただいている/生成AI(ChatGPT等)の利用方法に関する講座/各団体の視野を広める為の交流会が必要ではないか?/交流会、お楽しみ会の企画があれば参加したい

【つながりづくりを期待】今後いろいろな面でサポセンとの連携、協働を拡大したい/企業とどんな連携ができるのかもっと知りたい/高校や小中学校などの教育関係者や役所の関係性を構築するサポートをしてほしい/自治会等へ学習支援の重要性を伝え参加してもらいたい

# もっと知りたい！サポセンのこと

～市民活動応援プログラム～ 2023年6月・7月 開催報告



## ■ 開催経過報告 「ユースボランティア茅ヶ崎2023」

- ◆オリエンテーション開催日：2023年7月8日(土)～7月10日(月)
- ◆参加者：163名
- ◆ボランティア体験期間：7月21日(金)～9月9日(土)

### ～いつもと違う世界を体験してみよう～

社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉協議会との共催で、中学生から大学生(25歳まで)を対象に夏休みのボランティア体験をコーディネートしています。長いコロナ禍を経て、制限のない当事業を開催するにあたり、十分に気を引き締めて準備に取り掛かりました。

ボランティアの体験先は福祉、保育、子ども、環境保全、地域安全、国際、社会教育など多岐にわたる分野から23団体・施設(体験先は約50カ所)。6月15日の受付開始から参加申込の勢いがものすごくあり、申込締切日には、定員を大幅に超える申込数となりました。

7月8日～10日に参加者全員へボランティア体験の

心構えや注意事項を説明するオリエンテーションを開催。その後、希望する体験先担当者と面談、体験日の調整を行い、あとはボランティア体験当日を待つのみ！

「人の役に立つことをしたい!」「夏休みにいろんな体験をしてみたい!」など、申込んだきっかけは人それぞれですが、自分にできるボランティアの第一歩となることでしょう。受入先の方々も皆さんの思いを大切に、そして有意義な体験ができるよう準備をして待っています。

この夏のボランティア体験を通じて、地域のことを知り、社会貢献の大切さを学び、自身の視野を広げる機会になることを願い、9月9日体験最終日まで、参加者の皆さんをサポートしていきます。



### 【大学生ボランティア・石附 菜さんの紹介】

中学生の時から定期的に学生ボランティアとしてサポセンの事業(こどたん、ユースボランティア等)のボランティアに関わってくれている石附さん。大学生になった今もボランティアに関わろう!と思う気持ちを聞いてみました。



△以前、描いてくれたイラスト

「ボランティア」と聞くとハードルが高いように感じていました。言葉自体はよく耳にするのですが、自分の身の回りで見かけることがなかったため、どこか遠い存在のようでした。しかし、ユースボランティアに参加し、自分の中にあった壁を超えたことが自信に繋がり、何事にも挑戦するようになりました。実際、高校時代は委員会の幹部や、部長、外部で高校生新聞記者として活動しました。今では、誰かの役に立てている喜び、仲間と活動する楽しさがボランティアを続ける1番の理由になっています。

ユースボランティア参加者による体験の振り返りを共有する「シェア de ボランティア」(8/22開催)では司会進行も担当してくれます。～ユースボランティア参加者のみなさん、「シェア de ボランティア」の参加、待っています!!～

## ■ 開催報告 ITスキルアップミニ講座1「PhotoScapeX」画像編集

- ◆日時：2023年6月27日(火)13:30～17:00
- ◆講師：大木 伊都子さん+サブ講師2名(NPO法人パソコンボランティア湘南)
- ◆参加者：13名

### ～Web やチラシのイメージ画像作りに～

Microsoft Store から無料ダウンロードでき、簡単に使える画像編集アプリ「PhotoScapeX」(以下、アプリ)。

その基本的な使い方や応用テクニックを学ぶ本講座には、写真編集に興味を持つ初心者から経験者まで、幅広い層の方が熱心に受講されていました。

まずは、講座開催目的と流れの説明があり、続いて講師からアプリの基本機能に関する説明を受け、受講者は用意されていたサンプル画像を用い、実際にアプリを操作しながら編集や保存の方法を学習しました。

応用編では、具体的な例を交えながら高度な編集方法や効果の活用方法のレクチャーがあり、受講者が実際に編集作業を行い、写真にさまざまなエフェクトやフィル

ターを適用していく方法まで学ぶことができました。

講座後アンケートの結果からは、満足度が高く、講座の内容と講師の説明に対する評価が高いことが分析できました。また、アプリでの写真編集の基礎を学べたことや、応用テクニックを役立てて積極的に利用し、広報チラシやSNS発信に活用したいなど、前向きなコメントをいただきました。

今後も、参加された方からのフィードバックを反映し、より充実した講座を提供していく予定です。





茅ヶ崎で活躍中の市民活動団体を追っかけレポート！

# さぼちゃんが行く！

団体 HP ▶



## 特定非営利活動法人 湘南ふくしネットワークオンブズマン（通称：Sネット）

障がい者・高齢者・児童の権利擁護と地域生活の支援を目的として、オンブズマン活動、成年後見の支援、法人後見、エンパワサロン、研修、講演、出版、広報などの事業を行っています。

（1997年5月設立、代表：相川裕理事長、正会員（スタッフ）28名、賛助会員120名）

《事務局長の江崎康子さん他にお話を伺いました》

### 湘南エリアに権利擁護の仕組みを

1990年代障がい者への虐待が社会問題となり、湘南エリアの福祉施設長等有志が集まり、権利擁護のための研究を進めていく中で、北欧発祥の市民の権利擁護の有効な手法として、福祉オンブズマン制度に注目しました。それは、福祉サービス利用者の苦情や要望を受け止め、その声を代弁し関係者に働きかけていくというものです。その実践のために1997年、8施設による任意団体「湘南ふくしネットワーク」が発足しました。

オンブズマンには、研究を共同した福祉教育者の高山直樹氏、弁護士等6名が就任。その後、市民こそ担い手に、ということで地域の方々も加わり、江崎さんもその一人として2000年に就任しました。2001年には、オンブズマンとしてより主体的に活動するために、施設側から独立し、NPO法人となりました。

### 本格的に市民の成年後見を支援へ

一方、高齢や障がいにより判断能力が不十分な人の財産管理や法律行為を行う成年後見が2000年に制度化されました。制度では法律や福祉の専門家等の個人の他、法人としても後見が可能であり、2003年からSネットとして後見業務を行っています。

こうした流れの中で、手続きが難しいといわれる成年後見のさらなる利用につながるような相談窓口の必要性が見えてきました。そこで、茅ヶ崎市の市民提案型協働推進事業に手を挙げて2008年に始めたのが、成年後見支援センター事業です。3年後には市の委託事業となり、以降12年間「市民による市民のためのセンター」を掲げ、コロナ禍中も休まず、月・水・金にSネットの事務所内で開所してきました。

そして、この4月からは、市役所の分庁舎内に移転し、茅ヶ崎市が運営する成年後見支援センターとしてリニューアルしました。長年の実績とノウハウのあるSネットは、引き続きその一員として、相談や手続きのお手伝いに関わっていくことになりました。



←新しい事務所でも話をするスタッフの方々。



### オンブズマンは利用者寄り添って

ところで、Sネット設立当初からの主要事業であるオンブズマン活動は、実際にどのように行われているのでしょうか。現在契約先の施設等は30か所を超え、標準的には、月1回、複数のオンブズマンで施設を訪問し、直接利用者の方にお会いし、お話を伺ったり活動を共にしながら「想い」を聴き取り、その想いを施設に伝えます。利用者の立場に「立ち切って」代弁することをモットーとしていますが、自分で想いを伝える「セルフアドボカシー」も大事にしています。

そして、月1回オンブズマンが集まり、活動報告をして課題を共有しています。問題が深刻であれば、施設に対し意見書等を提出して、改善を促す場合もあります。

### 障がい者の意思決定支援を

7年前、悲惨な殺傷事件のあった津久井やまゆり園。入所していた方々の意思を確認していく中、意思は人間関係の中で形成されていくもので、対等に関われる友人・知人を増やしていくことの重要性が明らかになってきました。Sネットでは、2019年から今春まで県から通称「お友達プロジェクト」を受託、大学生等が日常的に交流し、対話しながら、当事者の方々の意思を引き出せるような関わりに努めてきました。

この4か年で30名ほどの若い方々が参加、活動を広めるためのマニュアルも作成しました。



←大学生等が津久井やまゆり園を訪問、利用者とは交流しました。

上記に先立ち、2017年からは、障がい者の方々の居場所として、皆が対等な関係で茶話会のような時間を過ごす「エンパワサロン」を月1回開催しています。

今年は、Sネットにとって節目の年になりました。4月に成年後見支援センターのリニューアル（前述）、6月には事務所も、北口の繁華街の一角から1キロ余り北上した住宅地に移転しました（下欄参照）。スタッフの皆さんも気分一新、市民の権利を守り、地域に一層根ざしていくための新たな事業展開を期待しています。

### Sネットの事務所の移転先です。

住所：253-0002 茅ヶ崎市高田5-3-11 ジュネスカガ 2-208  
電話・FAX：0467-81-7660（番号も変わりました！）

# お知らせ

## ITスキルアップミニ講座2

### 「Wordでチラシづくり」



思わず手に取る！目を引く！  
紙面づくりのコツを学びましょう

- ◇日時：8月29日(火)13:30～17:00
- ◇場所：ちがさきサポセン（フリースペース大）
- ◇講師：関山昭子さん（NPO法人パソコンボランティア湘南）
- ◇内容：文字の装飾、レイアウトの工夫、画像挿入など
- ◇参加費：500円（資料代）
- ◇定員：15名（要申込・先着順／1団体2名まで）
- ◇対象：NPO団体等で広報などを担当する方
- ◇持ち物：筆記用具、ノートPC
- ※OS：Windows10・11、OfficeWord2016以上
- ※デスクトップPCの方は、サポセンの貸出PCが利用可能（要申込／先着2名まで）



申込はコチラ▲

## パソコン湘南主催 IT支援

パソコン・スマホのお悩み事をサポセンに来て相談  
できます。（無料・予約制）

開催日：第2・第4月曜日

①13:00～14:00②14:00～15:00

③15:00～16:00 ※各回定員2名

※申込受付：毎月1日から

※お申込みは、直接 NPO法人パソコン湘南へ

TEL 申込(16時以降)▷杉岡さん 090-9543-0070



詳細はコチラ▲

## ゴーヤ・緑のカーテンの季節です



今年も西側の壁面にゴーヤで  
緑のカーテンを育てています。  
6月にサポセンスタッフで植付、  
ぐんぐん成長するゴーヤたち！



利用者の皆さんにも、お気持ちの募金をいただきお裾分け。いただいた募金は、市民活動「げんき基金」へ寄付します。館内でも環境配慮活動(キャノピースイッチ、エアコン28℃設定等)に取り組む中！ご協力をお願いします。  
※自動販売機の設置がないので飲み物はご持参ください。

## Web版/市民活動団体ガイドブック2023年度

8月にサポセンHPにて登録情報を一斉更新！  
300以上の団体情報を掲載しています。「社会や地域貢献につながる活動をしたい」「課題解決のために他団体と協力したい」など市民と団体をつなぐガイドブックとしてご活用ください。



☆新規登録も随時受付中☆ 詳細はコチラ▶

## 広報ちがさき「市民の活動だより」

毎月1日発行の「広報ちがさき/市民の活動だより」コーナーで市民活動団体を紹介しています。

ぜひご覧ください。

▷7/1号：(一社)リトルハブホーム

▷8/1号：プレシャスハート

▷9/1号：Pukana La [=] MARKET

紙面の都合上、掲載が遅延される場合があります

## サポセンカレンダー

<○休館日、□館内利用制限日>

8月

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

- 8/22 PM シェア de ボランティア
- 8/29 PM IT ミニ講座 Word チラシ作成

9月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

- 9/16 PM SDGs ネットワーク事業
- 9/30 PM ボランティア塾 in サポセン

10月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

- 10/21 PM NPO 講座
- 10/28 PM こどたん+2024キックオフ交流会

※最新情報はホームページにてご確認ください。主催イベント開催のため、フリースペースのご利用を制限させていただきます。ご理解ご協力の程お願いいたします。

## ちがさき市民活動サポートセンター

開館時間 9:30～21:30（休館日：毎月第3水曜日、年末年始(12/28～1/3)）

アクセス JR 茅ヶ崎駅北口より徒歩 10分程度・駐車場 14 台・障がい者用駐車場 1 台・駐輪場あり

連絡先 〒253-0041 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎 3-2-7 TEL/FAX：0467-88-7546

E-mail：s-center@pluto.plala.or.jp URL：https://sapocen.net/

編集・発行 認定特定非営利活動法人 NPOサポートちがさき

（指定管理期間：2021年4月1日～2026年3月31日）

サポセンキャラクター  
“さぼちゃん”



サポセン HP